小学校6年生を対象に実施　　越前市武生西小学校

西っ子の「国語」・「算数」の力と学習や生活の様子

～『R8 全国学力・学習状況調査（2026 年 4 月実施）』の結果から～

今年度は国語と算数の調査が行われました。どちらの教科にも、学校での授業の工夫や家庭での学習支援の効果が表れています。

◎は良いところ、▲は伸ばしたいところ

★国語について★



①学習指導要領の内容における結果から

◎思考力・判断力・表現力等における「話すこと・聞くこと」の領域で力がついています。特に、話の内容を分かりやすく伝えるための説明の補足の仕方や、強調の仕方など、資料を活用して表現を工夫する力がついています。

②特に正答率の高かった問題

◎「動画」を作成する場面における表現の工夫として最も適切なものを選択する問題ができていました。目的や意図を意識して資料を活用することや、表現の工夫を用いることのよさ・効果について理解しています。学んだことを新聞やプレゼンテーションなどにまとめ、発表したりオンラインでの交流活動に取り組んだりしている成果が表れています。

③課題として

▲目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして語句と語句との関係の表し方を理解したり、必要な情報を見つけたりすることや、論の進め方について考えることに関する事項に課題が見られます。特に、情報を取捨選択、整理、再構築することを通して事例と経験を結び付けることが課題です。

→今後は、説明文や解説文の事実と感想・意見などとの関係を図に置き換えるなど構造化して押さえ、それぞれに捉えた話の全体像について他の児童と交流し、深める活動を積極的に取り入れていきます。

★算数について★





①学習指導要領の領域における結果から

◎「図形」の領域で力がついています。特に、図形を構成する要素に着目して立体図形の体積について考察する問題の正答率が高く、立体図形の性質や構成の仕方の理解について基礎的な力が身についています。

②特に正答率の高かった問題

◎直方体の箱の六つの面のうち四つの面が示されたとき、残りの二つの面の縦と横の長さを求める問題ができていました。直方体の箱の形を構成する面についてよく理解しています。

③課題として

▲「数と計算」の領域において、小数と整数が混在している計算を小数点をそろえて位ごとに計算することや、単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えることに課題が見られました。また、示された資料から数量の関係に着目して必要な情報を選びとることにも課題が見られました。

→今後は、整数・小数・分数の計算や数直線の基本概念の定着を図るとともに、資料から必要な情報を適切に読み取る活動を他教科でも取り入れていきます。




＊学習や生活について＊

◇よい傾向 ◆心配な傾向

①《家庭や地域に関すること》

◇学校の学習について、おうちの人と話している児童の割合が高いです。
◇家庭で PC・タブレットなどの ICT 機器を勉強のために使っている児童の割合が高いです。
◇地域の図書館や学校の図書館の本を借りて読んでいる児童の割合が高いです。
◇新聞をよく読んでいる児童の割合が比較的高いです。
◆朝食を毎日食べる、同じ時刻に起きるなど、規則正しい生活を送ることができている児童の割合がやや低めです。また、SNS や動画を視聴する時間が長い児童の割合がやや高いです。

②《学校に関すること》

◇学校に行くのが楽しいと感じている児童の割合が高いです。
◇友達関係に満足していると答えた児童が多いです。
◇道徳の授業などで、自分と違う意見について考えることを通して自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に意欲的に取り組んでいる児童が多いです。
◇英語の学習に関心が高く、授業以外の場所で英語を使っている児童の割合も高くなっています。
◇将来英語を使うような職業につきたいと考えている児童が多いです。
◆学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげたり実生活に結び付けて考えたりすることが難しいと感じている児童の割合がやや高いです。

③《自分自身に関すること》

◇将来の夢や目標をもっている児童が多いです。
◇分からないことや詳しく知りたいことがあったときに自分で学び方を考え工夫することができている児童が多いです。
◇人が困っているときは進んで助けている児童が多いです。
◇友達との意見の違いについて興味を持ち、友達と関わりながら生活している児童が多いです。
◆自分の良いところに気付いていない児童の割合がやや高いです。

★西っ子の保護者のみなさまへ★

地域や社会に関心を持ち、その中で自分の「知りたい！」と思うことを見つけて意欲的に取り組んでいける西っ子です。課題解決に向けて自分から進んで取り組んでいる児童ほど、得点率が高い傾向が見られます。授業で学んだことを生かして、予習・復習等の自主学習を行ったり、何度も同じ問題に取り組んだりしてみるといいですね。また、家庭でゲームや動画視聴などの時間が短い児童ほど、得点率が高い傾向が見られます。PCやタブレットなどのICT機器の使い方を含め、規則正しい生活を送ることについて話し合ってみてください。